

未利用間伐材等を活用した木質バイオマス発電による林業振興



発電施設の外観



チップ化した原料



発電機

<概要>

- ・ 事業実施主体：やまがたグリーンパワー（株）
（山形県村山市）
- ・ 発電設備：木質バイオマス発電
発電出力 2,000kW
発電電力量 1,500万kWh/年
- ・ 燃料：木質チップ（間伐材、伐採木、伐根、
さくらんぼの剪定枝等）
約2万トン/年
- ・ 建設費：約15億円
- ・ 運転開始時期：平成19年1月

<特徴>

- ・ 1日60トンの地域の林業系バイオマス資源（間伐材、伐採木、伐根、さくらんぼの剪定枝等）を原料としてガス化発電を行い、得られた電気を売電。
- ・ 未利用の間伐材等を購入することにより、地域の森林の維持・保全、林業経営の改善に寄与。
- ・ 発電の副産物として発生する木酢液は、無償で近隣の農家に提供。
- ・ 平成23年7月からは、東日本大震災の被災地である宮城県気仙沼市からの木質がれきも受け入れ。